

	ふたば（効範・水南）
人 口	29,144 人
老年人口（高齢化率）	7,332 人（25.2%）
地 域 （H29 協議体資料）	<p>市街地：高齢者から若年者まで人口構造が多様な地域。</p> <p>人口と高齢者人口は市内で一番多い地域。ただし高齢者人口率ははたやまと並び市内で一番低い。</p> <p>新旧住民が居住し、市内で唯一敬老会を各町内会で実施する地域が存在するなど、地域における自主的な活動が活発な地域である。</p>
資 源	<ul style="list-style-type: none"> ・ご近所交流サロン（効範） ・地区社協子育てサロン（効範・水南） ・地区社協いきいきサロン（水南） ・サロン水南会（水南） ・さんすいサロン（水南） ・おしゃべりサロンまつ（水南）（社会福祉法人 ふたば福祉会） ・なもカフェ（効範）（NPO法人 楽歩）
活 動	<p>効範連区で実施されている町内単位のご近所交流サロンや水南連区で実施されている民協が主催する企業の空きスペースを活用したさんすいサロン・サロン水南会が実施する毎週火曜日のサロンなどに参加、参加者や運営担当者の悩みやニーズ把握を進めた。</p> <p>また、自治会や地区社協の集まりで役員の方などにも居場所の必要性や効果、支えあいの重要性を説明した。</p>
課題・分析	<p>町内行事も年々、減少しており、地域住民やご近所同士で顔の見える関係性が希薄化している。その中、地域では地域力や地区社協の行事＜敬老事業・サロン＞などで集まる機会を確保していた。</p> <p>ここ数年、効範連区で行われているご近所交流サロンや水南連区で行われているさんすいサロンなど小地域単位を対象とした居場所が増えてきている。</p> <p>ただ、町内単位のサロンでは、運営側の負担が大きく、何を催したらよいのか？という課題も多くあがっている。</p> <p>主催する側・される側の関係性が打破できていない。</p> <p>また、さんすいサロンでは、企業の好意で空きスペースを無料で確保し、今年度限りの助成金で事業を行っていることもあり、来年度以降の運営費用などに不安を抱えている。参加者からは、近くだから参加できるという声もたくさん上がっており、需要はあるものの場所や運営費や担い手の問題がある。</p>

	しなの（東明・品野）
人 口	14,319 人
老年人口(高齢化率)	4,753 人（33.2%）
地 域 (H29 協議体資料)	<p>山間地域：高齢者にとって交通アクセスが不便な地域。</p> <p>担当する地域の面積が非常に広く古くから居住する住民が多い。そのため地域のつながりが昔から強い。下半田川では地域によりおたすけ隊などが活動している。</p>
資 源	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地区社協子育てサロン（品野） ・ 地区老人クラブ（東明、品野） ・ 一白会（品野） ・ サロン塩草（東明） ・ せとぶれんど（品野）
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 品野地区では自治会、まちづくり協議体、地区社協、老人クラブ等既に組織として地域での活動が行われ、地域資源としての役目を果たしている。さらに、小単位でのサロン開催に向け支援した。 ・ サロン開催にあたり地域サロン応援事業を活用することを提案し、開催担当者の負担軽減を図った。 ・ 品野地区にある障がい者施設と連携し、地区社協開催のサロンを活用し障がい者理解、交流の場とした。 ・ 「地域包括支援センターしなの」に定期的に訪問し、連携を深めることとした。 ・ 地域課題として取り上げられた「買い物支援」の取り組みとして「買い物に行こう」を品野地区、東明地区で開催した。 ・ 自宅や塩草台集会所で月に一度、介護予防等について近隣の方や友人が集まって勉強している。地域の居場所作り、支えあい場として支援していく。
課題・分析	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で既に活動している組織間の連携、および資源となる組織を把握し、新たな資源となる組織を立ち上げる際に、適切な情報が提供できるよう分析しておくことが課題。 ・ 地域課題である買い物支援を地域で解決できる支援となるよう、担い手の創出など支援方法等の情報整理が課題。 ・ 地域での小規模のサロンが立ち上げることはできたが、サロン内では運営に関わる方、サロンに参加する方という状況になっており、協働して運営するという意識が希薄となっている。今後のサロン継続のため、担い手を養成することだけでなく、意識の改革が必要と思われる。 ・ 東明地区は路線バスが移動手段として運行しているが、バス停までの移動が丘陵地帯のため高齢者には負担が大きい。地域で支えあい等の手段創出が必要か。

	中央東（道泉・深川・古瀬戸）
人 口	9,839 人
老年人口(高齢化率)	3,609 人（36.7%）
地 域 (H29 協議体資料)	<p>旧市街地：交通アクセスは良いが、困難な問題を抱える高齢者が多く居住する地域。</p> <p>人口は市内で一番少ない地域。しかし高齢者人口率は市内で2番目に高く、高齢者独居世帯率は市内で一番高い。古くから居住する住民が多いが、地域のつながりが希薄で地域力協議会も存在しない地域を含んでいる。また少子化も進んでおり圏域内の小中学校の統廃合が予定されている。</p>
資 源	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協いきいきサロン（道泉・深川） ・地区老人クラブ（道泉・深川・古瀬戸） ・せとらカフェ（包括支援センター中央東） ・ほおやほおやカフェ（社会福祉法人 樹の里） ・深川サポート会（深川） ・高齢者施設「ゴールドエイジ瀬戸」（古瀬戸）
活 動	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者施設の一部を活用したサロンの検討：地域包括支援センター中央東から相談を受けたことでサロンの実施について実施主体を含めて、地区社協と共に検討している。 ・老人憩いの家にて出前講座を実施：認知症予防と住民同士の見守りや支えあいの重要性について説明を行った。 ・「買い物に行こう」の実施：昨年度、開催された地域懇談会から挙げられた地域課題の一つである「買い物支援」を実施。 ・道泉地区社協いきいきサロン『モーニング』と『せとぶれんど』との協働：昨年度の地域懇談会から出された障がいへの理解を進めること、また社協事業の木曜市を地域に展開することを目的とし、地区社協に提案、検討し、実施に至る。
課題・分析	<p>道泉地区社協は『お助けたい』、古瀬戸では施設の一部を使用してのサロンなど、新しい取り組みも検討されつつある。役員の中から「居場所やサロンに来られる方は良いが、来られない方への支援を検討すべき時期に来ているのではないか」という問題提起がなされており、また住民からは交流できる場を求める声も挙げられている。</p> <p>役員も住民からのニーズに応えたい気持ちが強いものの、役員の高齢化や役員自身も仕事や家庭と並行しながら担う役職への負担感が大きいと感じている。</p> <p>新規事業を検討する中で、地区社協だけで実施できるものか、どの団体と連携・協力をするか、新しい協力者を募る必要があるのではないかとといった担い手の不足の課題は避けられないと感じている。</p>